

セッション 3 : カルセドの使用経験

市 瀬 裕 一

聖母病院内科

本セッションは本題 1 題のみのセッションであった。カルセド(一般名 塩酸アムルピシン)は住友製薬より最近発売された全合成アントラサイクリン系抗腫瘍薬である。発表では単剤投与で肺癌の標準治療となりつつあるシスプラチン + CPT-11 の治療成績と同様の奏効率を示したが、骨髄抑制が強く、また種々の肺癌治療処方の中にあつて、細胞種別、ステージ、他剤との組合せなど本薬の占める臨床的位置付けが今後の検討課題となるであろう、との示唆を受けた。